

講義録レポート

講 座	証券アナリスト	科目①	経 済
目標年	2012年合格目標	科目②	
コース	1 次 公開模試	回 数	1 回
収録日	2012 年 3 月 14 日		
講師名	小川 先生	講義録枚数	4 枚 ※レポート含まず
		補助レジュメ枚数	— 枚 (サイズ —)
講義構成	講義① (26) 分 講義② (17) 分 講義③ (13) 分 講義④ (—) 分		
使用教材	① 問題		
	② 解答・解説		
	③		
	④		
配布物	有 . 無		
	① 問題		
	② 解答・解説		
	③		
正誤表	有 . 無 枚		
備考			

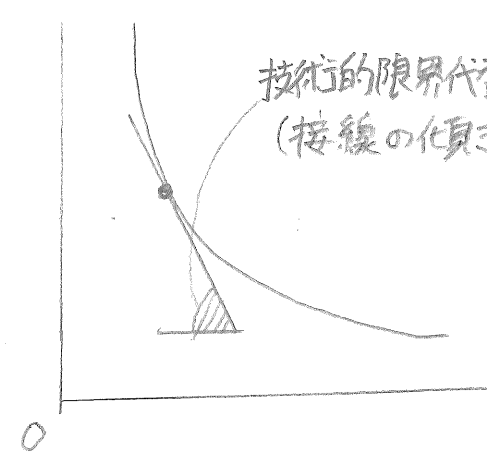
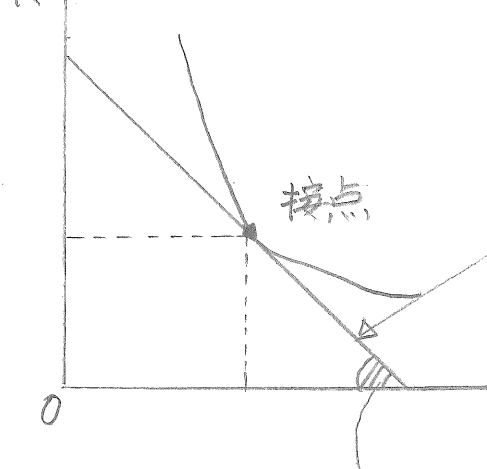
証券アナリスト講義録		科目	経済	コース	1次対策 公開模試	回数	/
------------	--	----	----	-----	--------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり []	なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講師	小川 先生
	★実力テスト：あり []	なし	★その他のレジュメ []		
	◇配布物なし				

テキスト ページ	黒板 内容
	第1問 (ミクロ経済学) 問2 最適消費点 限界代替率 = 2財の価格比 $\frac{P_x}{P_y}$ MRS (問題より) 対数の微分 $\Rightarrow$ (逆数) $\frac{dU}{dX} = 0.6 \times \left(\frac{1}{X}\right), \quad \frac{dU}{dY} = 0.4 \times \left(\frac{1}{Y}\right)$ Xの限界効用 Yの限界効用 $\text{MRS} = \frac{0.6 \times \frac{1}{X}}{0.4 \times \frac{1}{Y}} = 0.6 \times \frac{1}{X} \times \frac{1}{0.4} \times Y$ 限界効用の比 $= 1.5 \times \frac{Y}{X}$ $\frac{P_x}{P_y} = \frac{30}{20} = 1.5$ したがって、 $\frac{1.5 \times \frac{Y}{X}}{\text{MRS}} = \frac{1.5 \times \frac{P_x}{P_y}}{\text{MRS}} \Leftrightarrow \frac{Y}{X} = 1$ $\Leftrightarrow Y = X \quad \text{--- ①}$ 予算制約式は、 $\underbrace{30X + 20Y}_{\text{2財への支出額}} = \underbrace{500}_{\text{所得}} \quad \text{--- ②}$ ①を②に代入すると、 $30X + 20X = 500$ $\Leftrightarrow 50X = 500$ $\Leftrightarrow X = 10 \quad (Y = 10)$

証券アナリスト 講義録	科目 経済	コース 1次対策 公開模試	回数 /
-------------	-------	------------------	------

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★実力テスト：あり [] なし ★その他のレジュメ [] ◇配布物なし	講師 小川 先生
-----	--	----------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	問3 等生産量曲線 ⇒ 同じ生産量になる 2つの生産要素の投入量をつないだ曲線 (消費理論における無差別曲線に相当) 資本 K  労働 L ・右上がり、原点に対して凸 (こわ) ・右上ほど生産量 大 ・異なる等生産量曲線は交わらない K  L 傾き $-\frac{w}{r}$ 賃金と利子率の比 (2つの生産要素の価格比)

証券アナリスト講義録	科目	経済	コース	1次対策 公開模試	回数	/
------------	----	----	-----	--------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師	小川 先生
-----	--	--------------------------------------	----	-------

テキスト ページ	黒板内容
	第2問 (マクロ経済学) 問5 外国貿易乗数 $= \frac{1}{1 - C + m}$ m: 限界輸入性向 ($0 < m < 1$) 問6 比例所得税のある 政府支出乗数 $= \frac{1}{1 - C(1 - t)}$ ($= \frac{1}{1 - C + ct}$) t: 所得税率 ($0 < t < 1$) $\Rightarrow m, t$ が高くなると、乗数の値は小さくなる 消費を通じた波及効果 (経済は安定化する) 問11 IS-LM分析 ・投資の利子率感応度 $\Rightarrow$ 高くなるほど、IS 水平に近づく (金利弾力性) (財政 効果①) (金融 効果②) ・貨幣需要の利子率感応度 $\Rightarrow$ 高くなるほど、LM 水平に近づく (金利弾力性) (財政 効果②) (金融 効果①) △ “流動性の罠” のとき 無限大 (非常に高い) (財政 非常に有効) (金融 まったく無効)

証券アナリスト講義録	科目 経済	コース 1次対策 公開模試	回数 /
------------	----------	---------------------	---------

配布物 ★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師 小川 先生
---	--------------------------------------	-------------

テキスト ページ	黒板 内容
	第3問 (金融論) 省略 第4問 (国際金融論) 問3 国際収支の理論 ・ アブソープション(内需)アプローチ $Y = \underbrace{C + I + G}_{\text{内需}} + EX - IM$ $C + I + G = A \text{ とおく}$ $EX - IM = Y - A$ 経常収支 GDP 内需 ・ 貯蓄投資バランス $\underbrace{(S - I)}_{\text{民間貯蓄}} + \underbrace{(T - G)}_{\text{投資 財政収支}} = EX - IM \text{ 経常収支}$ 問8 不胎化介入の効果 ・ 不胎化介入では、国内のマネタリーベースが変化しない ⇒ 非不胎化介入と比べ、為替相場に与える効果は限定的。 ・ ただし、 ・ 内外通貨建資産間の代替性 (不完全) (カバーなし金利平価式が成立しない) ・ 市場が (非効率的) 不胎化介入であっても為替相場に効果をもつ可能性あり。